

平成 30 年度 環境委員会 事業報告

事業名等	実施内容	反省・総括
ごみ収集対策事業	<p>①集積所の管理運営 (通年、地区内 50 箇所)</p> <p>②ごみ出しの指導 (随時)</p> <p>③ごみの組成調査 (7月13日) 場所：グリーンバレー千代 稲葉クリーンセンター 参加人数 5名</p> <p>今年度は「埋立ごみ」「燃やすごみ」の両方の組成調査を実施</p> <p>【調査結果】 埋立ごみ ⇒市内 20 地区中、19 位</p> <p>燃やすごみ ⇒市内 20 地区中、16 位</p>	<p>不分別のごみが多く排出される集積所 (駄科区) に、監視カメラ・センサーライト・啓発看板を設置した。</p> <p>当初計画していた「ごみ分別ガイドブック」の作成については、飯田市から発行の見込みがあったため中止した。</p> <p>家庭から排出されるごみの分別状況を確認し、ごみの適正処理の啓発を進めるために、毎年環境課が主となり開催している。当日の朝、竜丘地区内に排出された埋立ごみ・燃やすごみ各 10 袋を無作為にピックアップし、その中身をあけて、正しく分別されているかを調査した。どちらも混入物が多く、市内 20 地区中の順位は低い結果となってしまった。特に埋立ごみについては、ガラスビンや、缶詰の空き缶など、きちんと分別すれば資源になるものが大量に混入していた。</p> <p>分別方法を多くの方に指導し、意識と知識の向上を促して正しい分別でのごみ出しに協力してもらえるよう、今後の指導も丁寧に根気良く続けていきたい。</p>
リサイクルステーション運営	<p>①リサイクルステーションの運営 (地区内 5 箇所×年 6 回)</p> <p>②ごみ出しの指導 (随時)</p>	<p>概ねスムーズな運営が出来た。ビンやペットボトルはきれいに洗浄され、ラベルもキャップもはずして持ち込まれており、排出方法が徹底されてきている。</p> <p>リサイクルステーションへ来た方に対し、正しい分別をして持ち込んでもらえるよう、ビンやペットボトルの分別で間違いやすい点を指導している。指導する回数も減少し、それぞれの家庭でのリサイクルへの意識の高さを感じている。</p>
環境美化事業	<p>①春のごみゼロ運動 (5月27日) (参加者 1,076 名：昨年度より 58 名減) 内、高校生以下の子供の参加者 55 名</p> <p>②秋のごみゼロ運動 (11月11日) (参加者 896 名：昨年より 5 名減) 内、高校生以下の子供の参加者 52 名</p> <p>③全市一斉水辺等美化活動 (7月1日) (天候等により実施日異なる常会あり) (参加者 716 名：昨年より 457 名減)</p>	<p>例年、参加者が減少傾向にあるが、子供の参加人数は増加している。(秋の子供の参加者：昨年 29 名→今年 52 名へ増加) これを良い機会と捉え、子供達が小さいころからの環境美化やごみ問題に高い意識を持てるよう、家庭や学校での呼びかけを依頼し、春と秋の全市一斉ごみゼロ運動への参加の輪を広げたい。</p> <p>ごみ拾い中に、犬のふん害にあう事例が多く報告されているため、飼い主への呼びかけも行っていく必要があると感じている。</p> <p>竜丘小学校の資源物回収日と重なってしまったためか、参加者が激減した。資源物回収のための車両の往来が増えるため、お互いの安全確保のためにも実施日に配慮いただけるよう小学校へ依頼したい。</p>

平成 30 年度 環境委員会 事業報告

事業名等	実施内容	反省・総括
	④時又灯ろう流しへの協力（8月16～17日） 参加者：各区正副環境委員長、 時又区環境委員	17日朝、時又灯ろう流しで発生するごみの分別作業に協力している。出店のごみと思われるものも多くあった。
	⑤ガードレール洗浄作業の実施 （通常隔年実施） （地域振興委員会と合同実施） 実施日 9月8日 場 所 鈴岡公園通り（県道駄科大瀬木線） （参加者33名） 【内訳】環境委員会 7名 地域振興委員会 19名 駄科区会 5名 安全委員会 2名	隔年実施で鷺流峡のガードレール洗浄作業を実施し、今年度は実施しない年であったが、作業範囲を半分程にして場所を変えて実施した。各委員会や、地元の駄科区会の皆さんにもご協力頂き、総勢33名で金たわしを使ってガードレールの汚れを落とし、不法投棄のされにくい環境となった。毎年、実施箇所を変えることで、地区内全体の景観も良くなり、不法投棄も減っていくことが期待できる。
省エネ推進事業	家庭における環境家計簿の取り組みの推進 ※この取り組みは飯田コアカレッジやおひさま進歩の協力を得て実施 ①前年度環境家計簿報告会 実施日 5月21日（参加者35名） 講 師 おひさま進歩エネルギー(株) 菅沼氏、内山氏 ②環境家計簿への周知のための活動 ・5月 竜丘地域自治会ホームページへ、データ掲載 ・6月 組合回覧にて周知	環境家計簿への取り組みは5年目を迎えた。環境家計簿の提出があった全世帯へ、世帯ごとの結果をまとめた報告書を配布した。環境委員をはじめ、多くの世帯で「環境家計簿」に取り組むこと、また、2年以上継続して取り組むことを今後も目標とし、より精巧なデータの分析や、そこから発見できる改善点に着目していきたい。 我が家の現状を「見える化」し、環境対策や家計節約等の意識を持てるよう、今後も展開していきたい。
鷺流峡環境美化推進事業	①不法投棄パトロール（各区正副委員長参加） 実施日 春：4月15日 秋：10月20日 ②竹や樹木の間伐・枝打ち作業 ○委託業者：志可屋 区間：駄科～湯の瀬 期間：2月20日～3月20日 ○委託業者：天竜川鷺流峡復活プロジェクト 区間：湯の瀬西側の山側エリア 期間：12月11日～2月28日	不法投棄パトロールで鷺流峡を回り、鷺流峡復活プロジェクトの活動状況を見学すると共に、不法投棄の現状を確認した。ごみ拾い・ガードレール洗浄・竹の伐採等により不法投棄が激減し、綺麗な環境となってきている。 河川側の道路沿いは、長年竹や樹木の管理がされておらず、荒れた状態となっている。鷺流峡は平成26年度に飯田市の環境美化重点区域の指定を受け、市からの補助金を活用し、竹や樹木の間伐・枝打ちを実施している。急斜面で危険なため、業者へ作業委託している。
不法投棄対策事業	①不法投棄パトロール（各区正副委員長参加） 実施日 春：4月15日 秋：10月20日 （※鷺流峡環境美化推進事業に同実施内容を記載）	不法投棄パトロール員の先導により、上川路大畑地籍・新川さる橋・毛賀沢橋・臼井原等を中心にパトロールを行い、軽微な不法投棄ごみについては回収した。

平成 30 年度 環境委員会 事業報告

事業名等	実施内容	反省・総括
	<p>②竜丘クリーン運動</p> <p>【春：5月27日】桐林環境産業公園内 上川路大畑地籍</p> <p>【秋：11月11日】駄科新川さる橋周辺 念通寺裏新井原線沿い</p>	<p>パトロール中に不法投棄の目立った箇所について、春と秋のごみゼロ運動に合わせ、ごみの回収作業を実施。不法投棄の撲滅を目指すこの取り組みは竜丘独自の活動である。</p> <p>秋のクリーン運動では、さる橋周辺においてテレビ3台、洗濯機1台を回収した。</p> <p>ごみを溜め込まないよう、河川浄化への取り組みも今後の課題である。</p>
啓発事業	<p>①環境衛生強化週間</p> <p>第1回（5月14日～5月27日） 第2回（10月29日～11月11日）</p>	<p>環境衛生強化週間は、今年度より春と秋のごみゼロ運動前の2週間実施している。期間中、各地区のごみ集積所へ、分別啓発用のぼり旗を設置している。強化週間の意識を持たせるために、今後も啓発していきたい。</p>
	<p>②竜丘地区文化祭（11月10日・11日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竜丘環境委員会活動パネル 1枚展示 ・埋立・燃やすごみ組成調査パネル1枚展示 ・ごみ分別変更点の案内パネル 1枚展示 ・プラ資源リサイクル回収パネル 1枚展示 ・分別に迷う実物のごみ 数種類展示 ・ごみ分別クイズ実施 （2日間で100名以上実施） 	<p>今年から大ホールの一画を展示スペースとして確保した。今までよりも広い場所で展示やごみ分別クイズを実施して、より多くの方に興味・関心をもっていただけた。子どもの来場者が多くいたので、今後は子ども用のクイズも作成し、環境教育にも努めていきたい。</p> <p>昨年9月よりごみ分別方法が変わったことにより、変更となった『分別に迷う実物のごみ』の展示が好評であった。日頃からごみの分別に関心がある住民が多く、環境委員に直接ごみの捨て方や分別方法などを訪ねる方が多くいた。</p>
研修事業	<p>委員研修会の開催</p> <p>実施日 5月21日 （環境委員67名中35名参加）</p> <p>1部 内容 『前年度環境家計簿報告会』 講師 おひさま進歩エネルギー㈱ 菅沼氏、内山氏 （※1部については、省エネ推進事業に同実施内容を記載）</p> <p>2部 内容 『リサイクルステーションで収集した資源物はどうなるの？』 講師 飯田市環境課廃棄物対策係 佐藤氏、小林氏</p>	<p>1部では、竜丘地区基本構想の環境に配慮した取組から、環境家計簿で省エネ・省資源に取り組む活動の大切さを勉強した。</p> <p>飯田市内で環境家計簿に取り組んでいるのが当地区だけのため、身近な平均値が乏しく、我が家の状態を他と比較できないのが残念である。ただ、毎年家計簿を続けていくことで、自分の家庭の状態を比較することができるので、取り組みを続けて家庭の中で役立てていきたい。</p> <p>2部では、日頃からリサイクルステーションの当番を行っている環境委員には身近な存在でもあるビン・ペットボトルの収集について、そのリサイクル方法などを学んだ。</p>